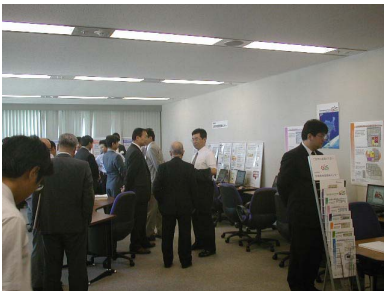


第 64 回目の GIS News! です

「盛岡会場」の様子



今年の夏は涼しい日が続き、睡眠不足にならず美貌を保てたことはハッピーでした。でも、冷夏はいただけません。観光や農業など各地で被害が発生しています。凶作になり数年前の冷夏のように「外国の米を食べる事態になったらどうしよう」と心配している方もいるのではないのでしょうか。

さて、Vol.62 でご案内しました 8 月 27 日セミナーの熱き一日を報告致します。

「全国縦断 GIS 活用促進セミナー」盛岡会場

「産・官・学 三位一体で電子国土の実現を」をテーマに、電子自治体・市町村合併を円滑に行うためのヒント・手法を講演の内容とした「全国縦断 GIS 活用促進セミナー」が、岩手県盛岡市で開催されました。当組合も参加し、GISソフトである PC-Mapping を利用した WEB-GIS システムを展示しました。参加していただいた皆さんからのご意見や、講演していただいた先生方のお話から、マイナーだった GIS がここ数年注目を浴び、様々な分野に広がりを見せ浸透していることを改めて感じました。

また、国の IT 基本戦略「e-Japan 戦略」に「GIS の推進」が取り上げられ、官民を問わず GIS が重要な整備課題であり基盤整備が進んでいる中で、産官学が三位一体となり GIS のより具体的な最善の道を常に模索していくことは、様々な分野での活動を効率化・迅速化し、従来にはない新しい質の高いサービスを市民に提供できるのではないかと納得しました。

従来、自治体で GIS を導入するのは、上下水道施設台帳、道路台帳管理等の業務効率化を目的としたツールとしての使用が主で、それを利用できる人の幅が制限されていました。現在は、市民と行政が情報交流するための潤滑油として、GIS を利活用することを目的とした「統合型 GIS」や「WEB-GIS」を導入しようと考えている自治体がほとんどです。GIS の焦点が従来と比較すると確実に変化しているのが分かります。

インターネットの急速な普及により、個人や民間企業でも GIS を直接利用する機会が増え、近い将来 GIS は日常生活に欠かせない支援ツールとなるでしょう。

当組合はお客様の立場に立ち、お客様に真の価値をもたらすサービスを、今後も提供して行きたいと考えております。

次回の GIS News!

今回は 2003 年 9 月 22 日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 佐藤香穂里 発行日：2003 年 9 月 8 日

